



21世紀も2年目の年(2002年)
ASAHIYAMA ZOO

発行所
 動物資料展示館
 旭川市
 旭山動物園
 ☎ 36-1104

毎月楽しみにして読んでね!
旭山動物園からの手紙

皆さん、旭山動物園からの手紙を読んでいますか?
 実は市民広報の最後のページに毎月『旭山動物園からの手紙』が載せられています。
 先日配布された平成14年4月号で、つづけてきたお手紙も14通になりました。これからも続けてお便りしますので毎月読んでください。
 お手紙の通り、雪解けが早く、心配していた「とりの村」の池の水も満水になり、開園を待つばかりです。

旭山動物園 4月28日オープン
 今年は花見といっしょです

今年旭山動物園のオープンを桜の花が祝いしてくれそうです。また、オープンの日は正門の広場にある花壇のチューリップも例年より早くきれいに咲いてくれると思いますよ!
 さて、「ほつきよくぐま館」の新築工事は天候にも恵まれ順調

に進んでいます。
 真新しい「ほつきよくぐま館」で大きなホッキョクグマと対面するのがとても楽しみです。



工事現場のようすです

動物読書感想文コンクールの表彰式(特)
 (5月11日土曜日午前11時から)

動物読書感想文コンクールの表彰式(特)は、5月11日土曜日午前11時から、旭山動物園の屋外ステージで行われます。昨年の12月から1月にかけて、動物にかかわる本を読んだ小学生を対象に読書感想文を募集しましたところ、旭川市内の30校137人の応募がありました。子ども読書年を契機にして始め、第二回目の事業となりましたが、前回の十倍に近い子どもたちが関心を寄せ応募してくれました。

片つばさのウミネコ



道新の写真より

動物読書感想文コンクールの表彰式(特)は、旭川市内の30校137人の応募がありました。子ども読書年を契機にして始め、第二回目の事業となりましたが、前回の十倍に近い子どもたちが関心を寄せ応募してくれました。

不思議発見見・見つけてね!(5)
 (見つけて聞いてみて下さい!)

フラミンゴ(カンザシフラミンゴ科) その他旭山動物園では、チリ
 生息地熱帯と温帯域の塩水または炭酸塩を含む浅い潟湖や湖でくらし
 ます。また、標高4,000メートルの高地に棲むものもいます。
 食べ物微小な藻やケイ藻・水生無脊椎動物。特に、甲殻類や軟体動物(小型の巻貝)を食べています。
 フラミンゴの3種を展示しています。正門から入るとすぐ右手に「とりの村」の巨大ケージがあります。
 そのすぐ手前が一番近いところに展示しています。よく観察して違いを見つけてください。



ホッキョクグマも
 楽しみにしています

旭山動物園だより26号でもほつきよくぐま館の新築場所はお知らせしましたが右上の写真のようにとても大がかりです。工事現場で働く皆さんは、来園された皆さんが安心して十分楽しめるように、注意をはらってください。
 周りの塀には皆さんに親しまれている「あべ弘士」さんが描いた動物の絵をたくさんはりめぐらし、楽しみながら歩くこともできるようになっています。

「絵本の読み聞かせ」



どうぶつ図書館で聞く人たち

毎週第二土曜日
 5月~10月=午前11時から
 11月~3月=午後0時15分から

今年度も、「旭川絵本の会」の皆さんが、「絵本の読み聞かせ」をしていただきます。いつもは、動物資料展示館の二階にある「どうぶつ図書館」です。

5月11日(土)は
 屋外ステージで行います

ゴールデンウィーク明けの第一回は屋外ステージで絵本の会の人々が作った手造りの「ジャンボ絵本」を読み聞かせてくれることになっています。
 みなさんぜひあつて、ぜひご覧になってください。



あべ弘士さんが描いた動物の絵を掲示した塀